

「徳島県知事公舎のあり方に関する有識者会議」意見書について

知事公舎の今後のあり方について、県民目線でのご意見を頂くため、各分野の有識者からなる「徳島県知事公舎のあり方に関する有識者会議」を設置し、これまで現地調査を含め4回の会議等を開催しました。

この度、意見書が取りまとめられましたので報告します。

1 委員構成

青野 透	徳島文理大学 総合政策学部 学部長 (会長)
上垣 小織	不動産鑑定士
北野 圭治	公益財団法人 日本防災通信協会 徳島県支部長
上月 康則	徳島大学 環境防災研究センター 副センター長
松浦 素子	株式会社 本家松浦酒造場 十代目蔵元
真鍋 恵美子	公認会計士

2 開催状況

令和5年	8月18日	第1回会議
	8月28日	第2回会議 (現地視察)
	11月2日	第3回会議
	12月1日	第4回会議 (書面開催)

3 意見書手交

令和5年12月12日 知事に手交

4 意見書概要

(1) 知事公舎の存廃について

現知事公舎を「公舎」として存続させることは望ましくないとする。

(2) 知事公舎を廃止する場合の処分または利活用の可能性について

建物付きで売却することが最も経済的であり、地域にとってもメリットがある。利活用の可能性については、民間への貸出しを含め、考え得る活用事例を提案する。

〈活用事例〉

- ・ 宿泊施設など、にぎわいづくりの場
- ・ 保護者が集えるスペースや子どもの居場所づくりなど、子育て支援の場
- ・ コワーキングスペースやサテライトオフィスなど、企業の育成支援の場
- ・ 移住希望者の期間滞在型の住宅やシェアハウスなど、移住支援の場

(3) その他の提案

将来的に知事公舎を確保することとなった場合には、防災やセキュリティ対策等において、職務遂行に支障がなく、県民負担増加につながらない民間施設の借り上げなどを提案する。